

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	平成30年度「家庭教育支援セミナー ～地域で支えよう！学ぼう！家庭教育～」
期 日	平成30年6月1日（金）
参加者	36名
日 程	<p>(1) 開会行事 13:30～13:35</p> <p>(2) 説明 13:35～13:50 テーマ「福岡県の家庭教育支援について」 福岡教育事務所社会教育室 社会教育主事</p> <p>(3) 講話 13:50～14:30 テーマ「地域における家庭教育支援の必要性について」 宮崎国際大学教育学部児童教育学科 准教授 相戸 晴子 氏</p> <p>(4) 演習・講評 14:40～16:00 テーマ「地域における家庭教育のさらなる充実に向けて」 宮崎国際大学教育学部児童教育学科 准教授 相戸 晴子 氏</p> <p>(5) 閉会行事 16:00～16:05</p>

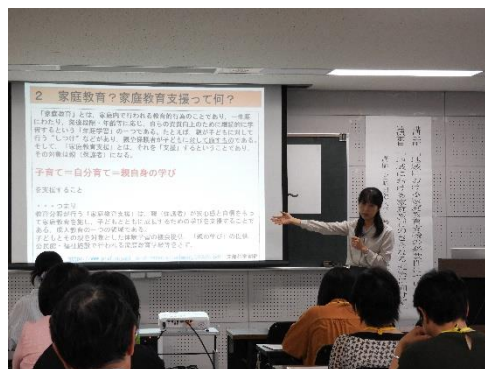
活動の 実際

【講話】

宮崎国際大学教育学部児童教育学科准教授の相戸 晴子先生に、「地域における家庭教育支援の必要性」というテーマでお話をいただきました。地域での子育て支援によって、親たちが実際に地域参加を果たしていった事例など、自らのご経験を交えたお話に参加者の皆さんも熱心に聞き入っていました。親が地域参加によって学びを深めていく「親育ちのプロセス」には、「家から一步踏み出す」、「人と語り合う」、「個人から組織へ」、「ネットワークを広げる」という段階があり、支援においても、その段階に応じた関わりが大切なのだそうです。参加者からは、「自分の地域に当てはめられることも多かった。『親育ちのプロセス』は大変すばらしく、これを参考にさらに支援を促進していきたいと強く思った。」、「もっと必要などころを見極めて活動すべきだと改めて思った。」という感想が聞かれました。

【演習・講評】

講話に引き続き相戸先生にコーディネーターをお願いし、「地域における家庭教育のさらなる充実に向けて」というテーマでグループ演習を行いました。各グループに、行政職員と家庭教育支援チームスタッフがそれぞれ入るようにし、各市町の家庭教育に関する課題やニーズについて情報交換を行いました。その後、各市町で、家庭教育支援チームを活用した支援の在り方について協議しました。「親育ちのプロセス」のどの段階に焦点化し支援を行うか、どのような支援ができるか、という話題で演習が進みました。演習の感想には、「一步踏み出す前の取組について学べてよかった。」、「地域内での取組を知ることができた。行政がどのように関わり合うのか、持続可能な関わり合いを検討する必要があると感じた。」という声が聞かれました。行政と家庭教育支援チームが連携し、地域での家庭教育支援がさらに拡充していくきっかけになったと考えています。



【 相戸先生による講話 】



【 グループに分かれての演習 】



【今後の活動について全体交流】

全体をと
おして

本研修会は、家庭教育支援チームを活用した地域における家庭教育支援の拡充をねらいとしていました。講話や演習を通して、親が必要としている支援や各市町のニーズを共有することができ、有意義な研修会となりました。今後、家庭教育支援チームの活動が地域に根付き、よりニーズに応じた活動となることを期待しています。